

# 「校長室」通信

第6号

三股町立三股中学校だより (HPにも掲載)  
令和3年12月23日(木) 校長 米丸麻貴生

## 弁当給食・「弁当の日」について

12月1日(水)から、町給食センターの空調工事に伴い、12月中は弁当(おかずのみ)を家庭から持参しての給食となりました。給食としては、ごはんまたはパンと牛乳のみの提供でしたので、16日間は弁当持参となりました。町内の小学校も同じ対応となりましたので、町内多くのご家庭に弁当作りにご協力いただき感謝申し上げます。

三股中学校では、12月13日(月)を「弁当の日」とし、生徒たちが自分で作る「弁当の日」に挑戦しました。事前に栄養教諭がお弁当通信を配付し、弁当作りのポイントやおかずのレシピ等のアドバイスを行い、生徒が弁当作りの計画を立てました。

生徒が作ったメニュー

玉子焼き、唐揚げ、ウィンナー、焼き魚、肉のチーズ焼き、とんかつ、ハンバーグ、しょうが焼き、コロツケ、チキン南蛮 等

生徒の感想には、「今回、初めて弁当を作ってみてお母さんの大変さが分かったので、自分のできるお手伝いをしていきたいです。」「母の味にならなかったのが少し残念でした。今度は母の味に近づけるように頑張りたい」等がありました。



## 九州中学校駅伝大会について

12月4日(土)に佐賀県の九州佐賀国際空港コースで行われました。女子チームのみの出場となりました。昨年度は3位入賞でしたが、けがで2年生エースを欠くメンバーで臨み、16位の結果で悔しい思いをしました。県大会で2秒差で負けた大淀中に38秒差をつけて勝つことができたことは、来年の励みになりました。

## 県立高校自己推薦入試について

12月17日(金)に県立高校推薦受検者集会を行いました。本年度の県立高校推薦入試は、自己推薦型になったため、各高校が定めたアドミッション・ポリシーや推薦要件を満たせば希望する生徒が受検できます。昨年度の2倍以上の164名の生徒が推薦受検を希望しています。これから出願に向けて自己推薦書の作成や受検での面接や小論文・作文の準備を進めていくことになります。自己推薦型となるため、自分の将来像や目標をしっかり持ち、自分の考えをまとめたり意見を述べたりする力が試されます。募集定員を受験者数が大きく上回ることが予想されることから、高校や学科によっては、これまで以上に倍率が上がるようになります。難関であればあるほど、自分の力を試す良い機会になるでしょう。受検する以上は全力を尽くし、結果に一喜一憂することなく、最後まで粘り強く受検を乗り切りたいものです。

○ 今後の受検に関する日程

- ① 私立高校入試・・・1月26日・27日
- ② 県立推薦入試・・・2月2日
- ③ 県立一般入試・・・3月8日・9日

## 校長の独り言コーナー

「次世代型キャリア教育」

本校での新たな取組について紹介します。

次世代型キャリア教育は、企業が提供する「未来を生きる力」を育てる複合型支援教材を活用し、教師が生徒一人ひとりに支給されたタブレットPCを利用し、授業を進める新たな学習方法です。本校では総合的な学習の時間や学校行事と関連付けたプログラムを進めていく計画です。全学年同時にスタートしますが、1年生は3年間、2年生は2年間で同じ内容のプログラムを進めていく計画です。プログラムの内容としては、大きく7つの章に区分されており、①次の時代に求められる、人の力 ②描いた未来を実現する力 ③他者の視界を描く力 ④意志を持ち、社会を生きる力 ⑤距離を把握し、挑戦する力 ⑥自分の世界を広げる力 ⑦自分が選んだ道を正解にする力 となっています。最初のレッスンでグループワークの3つのルールを確認しました。①ポジティブな反応 ②あいづちを打つ ③反応は大きさに今後、この学習を通して、目標を持ち、自分の力で行動する意志を持ち、問題解決する力を付け、自分で選んだ道を切り拓く力を付けていくことを期待しています。



授業の様子